

2025年2月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2024年10月10日

上場会社名 株式会社ミスターマックス・ホールディングス
コード番号 8203 URL <https://www.mrmaxhd.co.jp/>

上場取引所 東 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 能章

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経営企画・財務部門管掌 (氏名) 石井 宏和

TEL 092-623-1111

半期報告書提出予定日 2024年10月10日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年3月1日～2024年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	69,183	5.6	2,243	18.1	2,245	21.3	1,455	21.6
2024年2月期中間期	65,524	2.5	1,899	31.5	1,851	31.6	1,196	34.7

(注) 包括利益 2025年2月期中間期 1,449百万円 (14.7%) 2024年2月期中間期 1,263百万円 (31.8%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期中間期	43.74	
2024年2月期中間期	36.00	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期中間期	86,725	35,008	40.4
2024年2月期	83,511	34,129	40.9

(参考) 自己資本 2025年2月期中間期 35,008百万円 2024年2月期 34,129百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期		0.00		18.00	18.00
2025年2月期		0.00			
2025年2月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の連結業績予想(2024年3月1日～2025年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	132,000	1.9	3,300	9.2	3,200	10.0	2,200	10.0	66.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年2月期中間期	39,611,134 株	2024年2月期	39,611,134 株
期末自己株式数	2025年2月期中間期	6,321,835 株	2024年2月期	6,362,036 株
期中平均株式数 (中間期)	2025年2月期中間期	33,265,726 株	2024年2月期中間期	33,232,685 株

第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料の3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明	2
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間	6
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
中間連結会計期間	8
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年3月1日~2024年8月31日)におけるわが国の経済は、雇用や所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調が続くことが期待されています。しかしながら、為替相場の急激な変動や原材料・エネルギー価格の高騰に伴う物価上昇が続く、その結果、経済の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、「普段の暮らしをより豊かに、より便利に、より楽しく」という経営理念のもと、総合ディスカウントストアとして、生活必需品を中心とした商品を毎日低価格で販売するエブリデイ・ロープライス(EDLP)を徹底し、それを支えるエブリデイ・ローコスト(EDLC)に注力してまいりました。値下げ企画やアプリキャンペーンを継続的に行うなど、お客様の普段の暮らしに貢献する取り組みを推し進めてきました。

当中間連結会計期間における全店売上高は665億22百万円(前年同期比105.6%)となりました。商品別売上では、市場の品不足により需要が高まった、米の売上が大幅に増加しました。アプリキャンペーンなどで積極的に価格訴求を行った、衣類用洗剤、ペットフード、紙おむつなどの売上が好調に推移いたしました。プライベートブランド(PB)商品については、家電製品や紙製品、食品などの品揃えを強化した結果、売上高前年同期比114.6%となり、売上高構成比は前年同期に比べ1.7%増加し、21.6%となりました。また、期間中に発生した地震や台風の影響で防災意識が高まり、防災用品や非常食、加工食品などの売上も大きく伸ばしました。

その結果、当中間連結会計期間の営業収益(売上高+不動産賃貸収入+その他の営業収入)は691億83百万円(前年同期比105.6%)、また、既存店の売上高前年同期比は106.2%となりました。

荒利益高は146億31百万円(前年同期比105.7%)となりました。荒利益率の高いPB商品の売上が伸び、部門毎には改善傾向にあるものの、荒利益率の低い食品の売上が想定より伸びた結果、荒利益率は前年同期と同じ22.0%となりました。

コスト面においては、DX関連の費用や、キャッシュレス決済手数料が増加するなどした結果、販売費及び一般管理費は、150億49百万円(前年同期比103.9%)となりました。

これらの結果、営業利益は22億43百万円(前年同期比118.1%)、経常利益は22億45百万円(前年同期比121.3%)、親会社株主に帰属する中間純利益は14億55百万円(前年同期比121.6%)と増収増益となりました。引き続き、収益の拡大とローコスト運営に注力し、業績向上に努めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ39億13百万円増加し、230億75百万円となりました。これは主として、現金及び預金の増加25億86百万円などによるものです。固定資産は、前連結会計年度末に比べ7億円減少し、636億49百万円となりました。これは主として、差入保証金の減少2億6百万円などによるものです。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ32億13百万円増加し、867億25百万円となりました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ25億78百万円増加し、293億63百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の増加18億70百万円などによるものです。固定負債は、前連結会計年度末に比べ2億45百万円減少し、223億52百万円となりました。これは主として、長期借入金の減少11億19百万円などによるものです。

この結果、負債は前連結会計年度末に比べ23億33百万円増加し、517億16百万円となりました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ8億79百万円増加し、350億8百万円となりました。これは主として、利益剰余金の増加8億56百万円によるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は49億75百万円となり、前連結会計年度末に比べて25億86百万円増加いたしました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は38億35百万円(前年同期は22億57百万円の獲得)となりました。これは主として、税金等調整前中間純利益22億25百万円、仕入債務の増加14億10百万円、売上債権の増加6億28百万円、法人税等の支払額7億19百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は7億円(前年同期は11億87百万円の使用)となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出6億51百万円、敷金及び保証金の回収による収入2億19百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は5億49百万円(前年同期は23億13百万円の使用)となりました。これは主として、長期借入れによる収入20億円、長期借入金の返済による支出31億20百万円、配当金の支払額5億99百万円などによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の連結業績予想につきましては、2024年4月11日公表の予想数値に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,389	4,975
売掛金	3,467	4,095
商品	11,862	12,377
貯蔵品	43	43
その他	1,399	1,583
流動資産合計	19,161	23,075
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,355	13,866
土地	30,115	30,115
その他(純額)	4,067	3,963
有形固定資産合計	48,538	47,945
無形固定資産	1,561	1,510
投資その他の資産		
差入保証金	6,871	6,664
その他	7,413	7,560
貸倒引当金	△34	△31
投資その他の資産合計	14,251	14,193
固定資産合計	64,350	63,649
資産合計	83,511	86,725

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,313	10,184
電子記録債務	6,830	6,403
1年内返済予定の長期借入金	5,920	5,919
1年内償還予定の社債	286	586
未払法人税等	791	823
賞与引当金	725	559
その他	3,916	4,888
流動負債合計	26,784	29,363
固定負債		
社債	1,142	2,199
長期借入金	13,261	12,142
退職給付に係る負債	917	926
資産除去債務	1,572	1,583
その他	5,703	5,501
固定負債合計	22,597	22,352
負債合計	49,382	51,716
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,229	10,229
資本剰余金	7,992	8,003
利益剰余金	18,159	19,015
自己株式	△2,580	△2,563
株主資本合計	33,800	34,685
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	232	233
繰延ヘッジ損益	3	△3
為替換算調整勘定	5	6
退職給付に係る調整累計額	86	86
その他の包括利益累計額合計	328	323
純資産合計	34,129	35,008
負債純資産合計	83,511	86,725

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)
(中間連結会計期間)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
売上高	62,976	66,522
売上原価	49,139	51,890
売上総利益	13,837	14,631
営業収入		
不動産賃貸収入	1,918	1,986
その他の営業収入	628	674
営業収入合計	2,547	2,661
営業総利益	16,384	17,292
販売費及び一般管理費		
販売費	3,157	3,267
一般管理費	11,327	11,782
販売費及び一般管理費合計	14,484	15,049
営業利益	1,899	2,243
営業外収益		
受取利息	12	10
補助金収入	—	39
その他	31	54
営業外収益合計	44	105
営業外費用		
社債利息	0	3
支払利息	65	62
その他	27	36
営業外費用合計	93	103
経常利益	1,851	2,245
特別利益		
投資有価証券売却益	4	—
特別利益合計	4	—
特別損失		
固定資産除却損	79	19
特別損失合計	79	19
税金等調整前中間純利益	1,776	2,225
法人税、住民税及び事業税	541	778
法人税等調整額	38	△8
法人税等合計	579	770
中間純利益	1,196	1,455
親会社株主に帰属する中間純利益	1,196	1,455

(中間連結包括利益計算書)
(中間連結会計期間)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
中間純利益	1,196	1,455
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	56	1
繰延ヘッジ損益	8	△6
為替換算調整勘定	0	0
退職給付に係る調整額	2	△0
その他の包括利益合計	67	△5
中間包括利益	1,263	1,449
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,263	1,449
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,776	2,225
減価償却費	1,263	1,318
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△311	△166
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	21	8
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△2
受取利息及び受取配当金	△20	△19
支払利息	65	66
投資有価証券売却損益 (△は益)	△4	—
固定資産除却損	79	19
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,062	△628
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△631	△515
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,430	1,410
その他	△21	760
小計	2,584	4,478
利息及び配当金の受取額	7	8
利息の支払額	△64	△62
法人税等の支払額	△344	△719
法人税等の還付額	73	130
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,257	3,835
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△933	△651
無形固定資産の取得による支出	△422	△147
投資有価証券の取得による支出	△11	—
投資有価証券の売却による収入	14	—
敷金及び保証金の差入による支出	△4	△56
敷金及び保証金の回収による収入	255	219
預り敷金及び保証金の受入による収入	73	37
預り敷金及び保証金の返還による支出	△97	△79
その他	△60	△23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,187	△700
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,900	—
長期借入れによる収入	—	2,000
長期借入金の返済による支出	△2,885	△3,120
社債の発行による収入	—	1,500
社債の償還による支出	△143	△143
配当金の支払額	△894	△599
リース債務の返済による支出	△292	△192
その他	2	6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,313	△549
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,243	2,586
現金及び現金同等物の期首残高	3,136	2,389
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,893	4,975

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

当社グループは、小売及びこれに付随する事業を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

当社グループは、小売及びこれに付随する事業を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。